ボランティアグループ「ともしび」

拡大写本を盲学校に寄贈

大きく見えます

「視力の弱い生徒さんに読んでもらいたい」と、市内のボランティアグループが、一年がかりで作り上げた「拡大写本」二十七冊を、さる二月十日、県立新潟盲学校（山二ツ）に寄贈しました。

このグループの名前は「ともしび」。市社会教育課が一昨年開いた「拡大写本を学習する会」の受講生たちが集まって、昨年四月、自主グループを結成しました。会員は二十七人で、ほとんどが主婦。

「拡大写本」は、書物の小さな文字を、一ぺ前後の文字に書き写していくもの。弱視の人視力〇・〇六～〇・二）でも、拡大鏡などを使わずに大きな文字を読むことができます。しかし、その作業は、「一字一字正確に、しかも大きさをそろえて書かなければいけない」（会員の話）とあって、根気のいるものです。

会員の皆さんは、毎日の家事の合間をみつけては、コツコツと書き続けてきました。

「ともしび」は、これまでにも、県立新潟盲学校で使用している教科書の必要な部分を拡大写本してきましたが、このほど同校に寄贈した拡大写本は、「日本むかしばなし集」「エヌ氏の遊園地」（星新一著）「折々のうた」（大岡信著）など、七種類二十七冊。昨年一月、同校の生徒たちに聞いたアンケートの中から、希望の多いものを選びました。

これらの拡大写本の製本は製本所を経営する広川正義さん（寺裏通二）が、無料で協力してくれたため、りっぱな装丁になりました。

「ともしび」の代表から、本を手渡された生徒たちは、「いつもはレンズをつけて本を読むのですが、これならすれば、それは「自分の跡を継いでくれる人がいない」こと。新潟漆器の生産は、きかのぼること二百年。現在、竹塗をその特産に、磯草塗、虫喰塗などとともに雅趣ある変り塗として伝統を受け継いでいるが、市全体でも後継者難がある。

「これからは、先駆者の残してきたものを生かしながら、新潟の人々から愛される、堅地のモダンなセンスの漆器を作っていきたい」と意欲も十分。

今後とも素晴らしい作品を、と言ったら「頑張ります。漆器が好きですから」と笑って答えてくれた。

拡大写本を生徒に手渡す「ともしび」の皆さん　手前の本が拡大写本

クローズアップ

堅地竹塗の「御盆」がひと際光沢を放って美しい。「デザイン的に四分の一程度を竹を貼った感じにし、残りの部分を黒の磨きで」と言うように、竹の感じと黒の部分を対比させて洗練された感じを十二分に出している。

一回から連続のコンクール出品で初めて金的を射止めた。

昨秋、皇太子御夫妻が青樹祭で新潟を訪問された折、お二人にと新潟駅から注文を受け、二枚の注文に五枚作った。今回の出品作品がその時のもの。

「精魂込めて作った品物です」。皇太子ご夫妻に大層気に入られたことを今でも喜んでいる。

この道三十年の大ベテラン。若くして母を亡くし、兄弟の母親がわりを勤めながら父のもとで修業、漆器作の三代目として跡を継いだ。すでに九十年の伝統を数える。

漆器は数少ない市の伝統工芸品の一つだが、女性の職人さんは石崎さんただ一人。貴重な存在だ。「本当に漆器が好きなんです」。つい漆の美しさに魅かれてしまうという。

「今は合成樹脂製品に押されて塗り物の需要も少なくなってきています。でも、新潟漆器は美しくて丈夫。何よりも使っていて温かみがあり、気持ちにやすらぎを与えてくれますよ」

今、一人で自分の店をきり盛りし、注文製作を多くこなしている。盆、盛器など、塗りと形合わせて三十種類の製品を手がける。

石崎さんに悩みがあると

第7回市特産漆器作品コンクールで新潟市長賞を受賞した

石崎　ハツ工さん（上大川前三）

―ハルピン市長が来港―

なごやかに友好深める

新潟市と友好都市関係を結んでいる中国・ハルピン市の王化成市長一行がさる十一日来港し、市および関係者の歓迎をうけました。

来港したのは、王化成ハルピン市長、趙湯儒＝同市基本建設委副主任、曲奇＝同市外事弁公室幹部の三人。二月七日から札幌市で開かれた北方都市会議に出席し、その帰途本市を訪れました。

一行は十一日、県立自然科学館を見学。夜には、市関係者や「友好市民の会」会員ら約百五十人と友好を温めました。

そして翌十二日には川上市長を表敬訪問。川上市長が「両都市間の交流が医学等各分野で盛んになってきていることは大変うれしいことです」と述べれば、王市長も、この六月に開く予定の黒龍江省交易会に関して「ぜひ新潟から代表団を派遣してほしい」と要請するなど、終始なごやかな雰囲気で歓談しました。

この後、国際友好会館を訪れ、市関係者の「姉妹校である兆麟小学校のみなさんへ」と万代小学校の児童たちから絵や習字作品のプレゼントを受けるなどして、くつろいだひと時を過ごし、午後六時新潟をあとにしました。

王市長（中央）を空港に出向かえた川上市長

明日から東・中地区事務所でも申告を受け付け

所得税、市・県民税の申告受け付けが始まっています。

明日から東・中両地区事務所でも申告の受け付けをします。だんだん、窓口が込み合ってますので、お早めに申告をして下さい。

主婦のパートと税金

最近、主婦のパートが多くなっていますが、今年から配偶者控除を受ける要件が少し緩和されました。

①パートの収入金額が年間で合計七十九万円以下ならば、夫の所得から配偶者控除が受けられます。なお、この場合勤務先で扶養手当や家族手当などを支給されているかどうかは関係ありません（市・県民税については五十七年度から改正される予定です）。

②また、収入金額が七十七万円を超えると、市・県民税が、さらに七十九万円を超えると所得税が妻自身にかかります。

※夫が市・県民税非課税の場合、パートの内容が内職や保険の外交員などの収入の場合はこれとは別の基準によって判定します。

日報園芸教室

日時　三月十二日午後一時半
会場　農林中央金庫ホール
テーマ　「鉢物の植え替えと宿根草の株分け」
講師　市園芸センター職員
申し込み　はがきで新潟日報事業局（〒九五一、東中通一）

の悪い子供たちにも、本を読む楽しさを味わってもらいたくて、やってきました。子供たちのうれしそうな顔を見て、やってよかったと思いました」と語ってくれました。

離乳食講習会

対象　生後4カ月に達した赤ちゃんをお持ちのお母さん
持参品　母子手帳
〈石山地区保健センター会場〉
日時　3月9日午後1時半～3時半
申し込み　電話で石山地区保健センターへ
〈東保健所会場〉
日時　3月3日午後1時～3時半

幼児のむし歯予防にフッ素塗布を

対象　1歳半～4歳未満児
持参品　母子手帳、タオル、料金500円

会場	月日	時間	定員	申し込み
東保健所	3月8・15・29日	午前9時半～10時半	各40人	各会場へ
北地区保健センター	3月3日			
石山地区保健センター	3月24日			

※2回目以降の予約の方はフッ素番号をお知らせ下さい。

献血車「ゆうあい号」

月日	時間	会場
3・1	午前9時～午後3時	新潟高等職業訓練校（鐙西1）
3・3	午前9時～正午	内野上新町公民館（内野上新町）
3・3	午後1時半～3時半	BSN新潟放送（川岸町3）
3・4	午前9時～正午	新陽いすゞモーター㈱（下木戸）
3・4	午後1時～3時半	野崎カマボコ㈱（下木戸）
3・5	午前9時～正午	王子製袋㈱新潟工場（中山2）
3・5	午後1時～4時	第四銀行事務センター（鐙）
3・6	午前10時～午後4時	ダイエー新潟店前（万代1）

※正午から午後1時までは受け付け休み

1歳半児検診

対象　昭和55年8月生まれ
受付時間　午後1時～2時
持参品　母子手帳

〈東保健所会場〉

月日	対象校区
3・11	万代、南万代、長嶺、沼垂、大形、曽野木、東曽野木
3・18	山の下、桃山、下山、東山の下、笹口
3・25	竹尾、木戸、牡丹山、酒屋、割野

※3月11日は手話奉仕員が来所していますので校区にかかわらずおいで下さい。

〈石山地区保健センター会場〉

月日	対象校区
3・16	中野山、東中野山、南中野山、山潟、丸山、大淵、大形（岡山地区のみ）

〈西保健所会場〉

月日	対象校区
3・12	小針、浜浦、白山、鍋潟、大畑、豊照、濤
3・26	青山、有明台、関屋、礎、新潟、入舟、栄、東青山

〈西地区保健センター会場〉

月日	対象校区
3・16	内野、木山、笠木、小瀬、赤塚、西内野

育児相談

日時　3月9日午後1時～3時
会場　鳥屋野地区保健センター
持参品　母子手帳
問い合わせ　鳥屋野地区保健センターへ

3歳児検診

対象　昭和54年9月生まれ
受付時間　午後1時～2時
持参品　母子手帳、尿

〈東保健所会場〉

月日	対象校区
3・9	山の下、桃山、下山、東山の下
3・23	木戸、竹尾、牡丹山、曽野木、東曽野木、酒屋、割野
3・30	万代、南万代、長嶺、沼垂、笹口、大形

〈石山地区保健センター会場〉

月日	対象校区
3・5	中野山、東中野山、南中野山、山潟、丸山、大淵、大形（岡山地区のみ）

〈西保健所会場〉

月日	対象校区
3・11	小針、浜浦、白山、鍋潟、大畑、豊照、濤
3・18	青山、有明台、関屋、礎、新潟、入舟、栄、東青山

※3月18日は手話奉仕員が派遣されていますので校区にかかわらずおいで下さい。

〈坂井輪地区保健センター会場〉

月日	対象校区
3・5	坂井東、坂井輪、新通、五十嵐、真砂

(注)3歳児検診で尿検査（たん白、せん血）を実施しています。受診の際検診会場に尿を持参して下さい。容器は東西保健所、各地区保健センター、市民課窓口0番、各地区事務所・連絡所にありますのでお手数でもあらかじめ取りにおいで下さい。

保健所・保健センター電話案内

東保健所	☎41－4111
西保健所	☎66－5171
石山地区保健センター	☎86－4450
鳥屋野地区保健センター	☎85－2373
北地区保健センター	☎59－7332
西地区保健センター	☎62－3405
坂井輪地区保健センター	☎60－3255

股関節検診（希望者のみ）

対象　昭和56年11月生まれ
時間　午後1時～2時
持参品　母子手帳、料金930円、おむつ、ミルク

〈東保健所会場〉

月日	対象校区
3・19	中野山、東中野山、南中野山、山潟、丸山、大淵、鳥屋野、笹口、上山、上所、女池、酒屋、割野、曽野木、東曽野木
3・23	山の下、桃山、下山、東山の下、万代、南万代、長嶺、沼垂、竹尾、木戸、牡丹山、大形、松浜、濁川、南浜、太夫浜、太郎代

〈西保健所会場〉

月日	対象校区
3・9	五十嵐、真砂、坂井輪、坂井東、新通、有明台、笠木、小瀬、内野、西内野
3・23	小針、青山、東青山、浜浦、関屋、新潟、礎、大畑、白山、鍋潟、濤、栄、入舟、豊照、木山、赤塚